

QTシリーズ：祖先の信仰

1 週目：創世記 11:10～13:7

1 日目：創世記 11:10—32 を読んでください

アブラハムは実在した人物です。アブラハムの祖先はカルデアのウル出身でした。ウルは現在のイラク南部に位置し、世界で最も古い都市の一つであり、現在でも発掘作業が行われています。歴史学者や考古学者によると、既にアブラハムの時代より数百年前に高度な文明が発達していたということです。当時は農業が盛んで、人々は季節ごとに良い土地を探して遊牧民のように移動していました。聖書によるとアブラハムの父であるテラは、ウルから離れてカナンの地に向かったはずですが、なぜがハランに住むことになりました（創世記 11:31）。ハランは現代トルコにあるウルファという都市から 50 キロほど南東にあります。

この出来事の年代について正確な根拠はありません。モーセとヨシュアが生きた時代は紀元前 1400 年から 1500 年の間であることは歴史的に確認されています。ノアやアダムの系図は記録されていますが、全ての人々が系図に記載されているか定かではありません。アブラハムが生きた時代は紀元前 2000 年から 2500 年の間であると言われており、それが史実であることは確実です。彼らは私たちと同様に様々な試練に遭い、神様に従う上で困難がありました。

<深く考えるための質問>

- 1) 自分の両親、または祖父母、曾祖父母について考えてみてください。前の世代によってあなたの人生はどのように影響されましたか。代々あなたに伝わったことがありますか。
- 2) 自分の祖先を考えたときに、一番誇りに思うことは何ですか。

2 日目：創世記 11:10—32、創世記 12:1—5

もう一度、創世記 11:10—26 を振り返ってください。私たちが知っている限り、神様はノアの時代以外には人々と直接かかわったことが記録されていません。神様はノアと直接かかわり、次にアブラハムと直接かかわったと考えられます。ノアは 500 歳で 3 人の子どもを設けました。洪水のときにノアは 600 歳でした（創世記 7:6）。その時セムはおよそ 100 歳でした（創世記 11:10）。3 人の子どもが生まれた 500 歳の時に神様がノアに箱船をつくるように命じたと考えられます。創世 9:28 によると、ノアは洪水後 350 年生きました。セムは 100 歳でアルパクシャドという息子を授かりました。このことから、ノアと直接かかわった何年後に神様がアブラハムと直接かかわったかが分かるでしょう。

アブラハムの父テラはカナンに向かいました（創 11:31）。なぜテラは移動したのでしょうか。最終的にテラはカナンとウルの間地点であるハランに住むことになりました。つまり、神様はアブラハムに現れる前からアブラハムの人生に働いていたのではないのでしょうか。神様がテラに現れたと聖書には書かれていませんが、テラを通して働いていたと考えられないのでしょうか。同じように皆さんの両親の人生の中で、既にあなたの救いにつながる神様の働きがあったと考えられませんか。

ノアが亡くなったときアブラハムは 60 歳でした。その 15 年後、75 歳のアブラハムに初めて神様が現れました。神様がノアに箱船を造ることを命じた出来事からアブラハムに移動するように指示した出来事までに 450 年の年月が経過しました。

息子の名前	息子が生まれるまでの年数	ノアの生涯に残る年数
1) セム	100年	350年
2) アルパクシャド	35年	315年
3) シェラ	30年	285年
4) エベル	34年	251年
5) ペレグ	30年	221年
6) レウ	32年	189年
7) セルグ	30年	159年
8) ナホル	29年	130年
9) テラ	70年	60年
10) アブラハム	60年	0年 (ノア死去)
合計		450年

<深く考えるための質問>

- 1) アブラハムが神様に忠実に従ったことに感動しましたか。どのように感動したでしょうか。
- 2) 創世記 12:1 に書かれている神様の「行きなさい」という命令はアブラハムにとってどれほど大変なことだったでしょうか。アブラハムは何を感じたでしょうか。具体的にどのようなことが大変だったでしょうか。ハランからカナンまではどれほどの距離があるでしょうか。

3日目：ガラテヤ 3:6-9

それは「アブラハムは神を信じた。それは彼の義と認められた」と言われているとおりです。だから、信仰によって生きる人々こそ、アブラハムの子であるとわきまえなさい。聖書は、神が異邦人を信仰によって義となさることを見越して「あなたのゆえに異邦人は皆祝福される」という福音をアブラハムに予告しました。それで、信仰によって生きる人々は、信仰の人アブラハムと共に祝福されています。

この聖句にはとても励まされます。信仰の祖であるアブラハムは神様の掟に従順であったことにより神様から認められました。神様が従順さを喜び、祝福してくださいました。私達もアブラハムの信仰に倣えば神様に祝福されるでしょう。アブラハムは単なる老人ではなく、素晴らしい模範であり、信仰の父です。もし私達がアブラハムと血縁であったなら、誇りに思うでしょう。血縁でなく信仰によってですが、アブラハムに繋がっていることを喜び、誇りに思いましょう。

<深く考えるための質問>

- 1) 今までのクリスチャン生活において、いつどのように信仰によって生きましたか。
- 2) 自分にとって霊的に憧れている人はいますか。その人の信仰の何が魅力的ですか。
- 3) 教会に誘ってくれた人のことを思い出してください。その人も神を信じて従いました。その人にどう影響されて教会に来るようになりましたか？

4日目：創世記 12:6—9

神様はアブラハムに直接語ってくださいました。もし神様があなたに直接現れてくださったら、どのような言葉を聞きたいですか。もし可能なら、どのような質問をしますか。アブラハムは直ぐに祭壇を築きました。アブラハムは神様に感謝し、礼拝する習慣がありました。

神様への感謝を深く考え、書き出してください。その内容を今日のお祈りにしてください。

<深く考えるための質問>

- 1) あなたの生まれる前に、または生まれてから家族が決断したことを考えてください。あなたがクリスチャンになるために、どのような決断が栄光となりましたか（転居、転職、移住など）
- 2) 振り返ると、あなたや家族はどのように神様に導かれたと思いますか。神様に大きく影響された出来事を書き出してみてください。

5日目：創世記 12:10—20

創世記 12:7 において神様は再びアブラハムに現れ、カナンに行くことを確認しました。しかし、アブラハムはエジプトに行ってしまうました。私達も時に自分の考えで神様の計画から外れてしまうことはありませんか。

<深く考えるための質問>

- 1) なぜアブラハムはエジプトに行きましたか。これは神様の計画でしたか。飢饉がひどくてもアブラハムは忍耐してカナンに残った可能性があるのでしょうか。このアブラハムの行動について、あなたの考えを書いてみてください。
- 2) なぜアブラハムは嘘をついたのでしょうか。あなたはどのような状況や場面で嘘をつく誘惑を感じますか。どのようにすれば嘘をつかないように生きられますか。
- 3) 嘘ついたアブラハムに従ったサラのことをどう思いますか（特に妻である姉妹たち）。なぜサラは夫の嘘によって自分の身が危険にさらされる状況に対して従順になれたのでしょうか。

6日目：創世記 13:1—7

テラは 70 歳でアブラハムを授かりました。アブラハムは 75 歳のときに神様に呼ばれました。ですから、テラは 145 歳でアブラハムと別れたわけです。テラはそれ以来 60 年間(205 歳まで)、アブラハムと離れ離れに生活しました。テラはそのことをどう思ったでしょう。アブラハムは老親を置いて新しい土地に移動することにどう思ったでしょう。

<深く考えるための質問>

- 1) アブラハムのように新しい土地に住むことで苦勞したことがありますか。どのようなことが辛かったですか。
- 2) アブラハムは神様に祝福されて裕福になったことに対し、どのように影響されましたか。あなたはクリスチャンになる前と比較して裕福になりましたか。裕福さによって心の変化(いい意味でも悪い意味)はありますか。
- 3) 今まで、イエスの弟子として神様を信頼して決断したことで、最も大きな決心は何ですか。そのことを後悔していますか。